

## 日常の生活習慣及び態度に関する調査（ファミリー編）

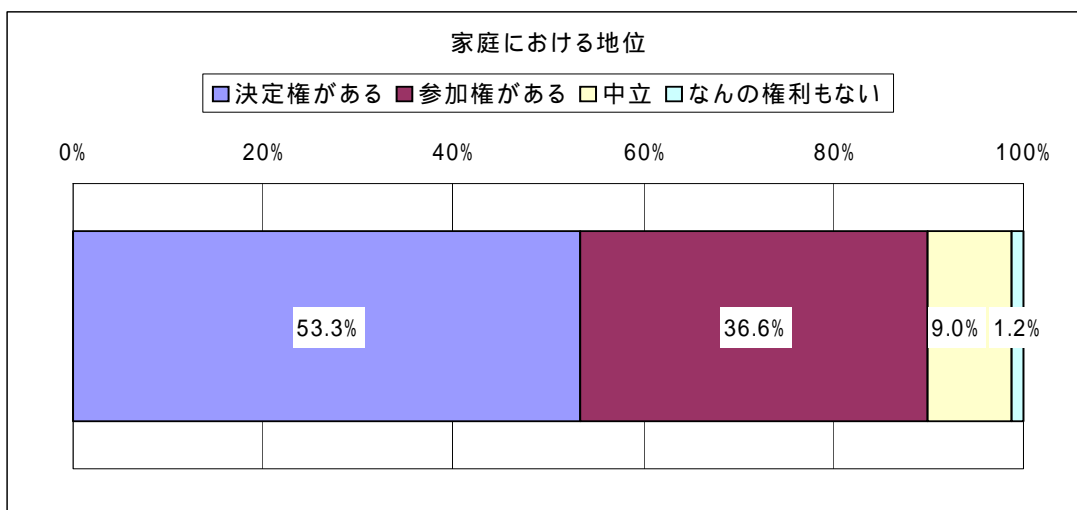
株式会社日本能率協会総合研究所（代表取締役社長：榮 武男）/MDBネットサーベイChinaでは、『日常の生活習慣及び態度に関する調査』を実施しました。

中国の男性を対象として、家庭における地位、婚前同棲後の結婚、家族との話し合いの状況などについて調査を致しました。

MDBネットサーベイChinaとは、MDBと上海中智庫瑪市場研究会社が共同で運営するインターネットリサーチシステムです。現在、中国の登録モニターは約160万人です。

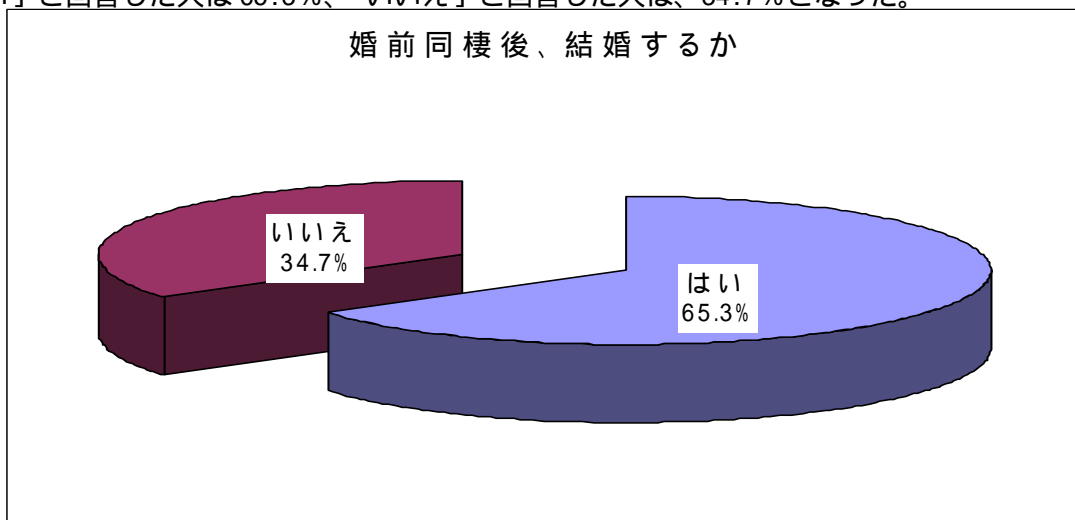
### 1. 家庭における地位は、過半数が「決定権がある」と回答。

調査対象者全員に、家庭における地位についてたずねたところ、以下のような結果となった。最も多かったのは「決定権がある」と回答した人で53.3%、次いで「参加権がある」(36.6%)となった。



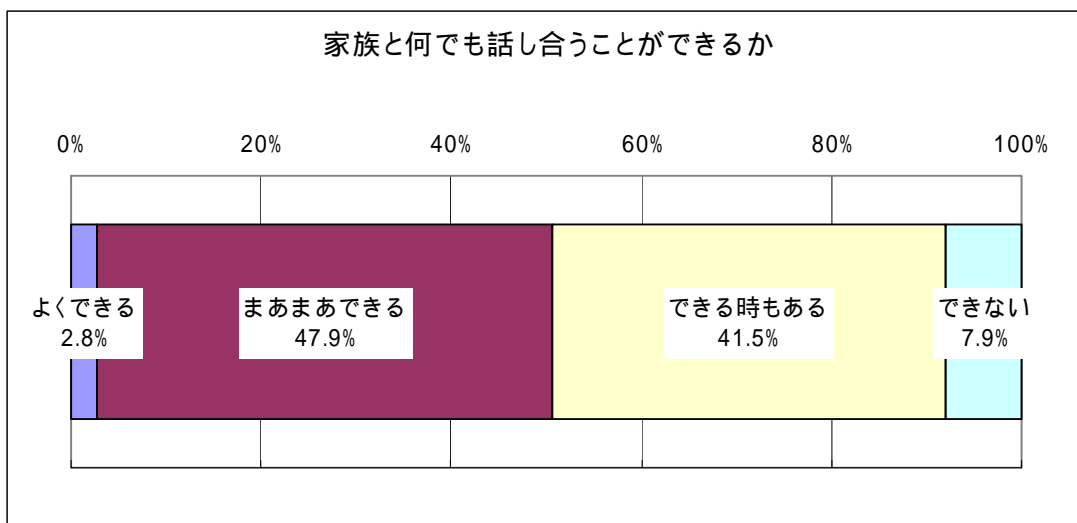
### 2. 全体の約3分の2が「婚前同棲後、結婚する」と回答。

調査対象者全員に、婚前同棲後、結婚するかどうかをたずねたところ、以下のような結果となった。「はい」と回答した人は65.3%、「いいえ」と回答した人は、34.7%となった。



### 3. 家族との話し合い、「まあまあできる」がトップ

調査対象者全員に、家族と何でも話し合うことができるかどうかをたずねたところ、「まあまあできる」と回答した人が最も多く47.9%、次いで「できる時もある」(41.5%)、「できない」(7.9%)となっており、「よくできる」「まあまあできる」の肯定的な意見が約半数を占めた。



#### 調査概要

調査実施機関 : 株式会社日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク  
調査方法 : 小社保有の「MDBネットサーベイChina」利用による  
インターネットリサーチ  
調査対象者 : 男性  
サンプル数 : 1500票  
調査実施時期 : 2005年10月

#### 本件についてのお問い合わせ先

株式会社日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク  
MDBネットサーベイ担当  
mail : mdb-net@jmar.co.jp TEL : 03-6212-9125